

刊夕 日五十月二



平市の新豫算に

今日から再検討

是が廿日頃を終えて内示會
市會の招集は今月末頃

武道講習會で講
師を囑託

平市の新豫算は既報の如く工
業校新設の起債十萬圓を加へ
五十五萬圓に達するものを縣
の調査を経て右起債は當初に
組入れず其の他は大休に於て
承認を得たので今十五日から
豫算全面にわたる委員の再檢
討に移り来る二十日頃までに
これを終つて内示會の後招集
される市會は今月末になるら
しく尙ほ右四十五萬圓の債
ろの中には都市計費の負擔
などが若干増加したるものそ
の他歳出の動きがある模様で
ある

幼少時代の縁故に

平市へ五百圓寄附

匿名で在京メリアス商このみ
感激させられた社會課員

昨十四日平市の社會課に金五
百圓を携へた五十四、五歳の
品のよい商人風の士が私は明
治年代に平町の小學校が田町
にある頃鶴田三善(八幡小路)
大河原金之助(胡澤澤)兩先生
等に教えられた縁故をもつて
東京のメリアス商であるとの
み氏名を秘して前記の金を市
社會事業に二百圓、純後奉公
會へ百圓、市内四ヶ小學校に
於ける出征軍人遺家族兒童中

傷痍軍人の
修養講習會

十九日公會堂で
傷痍軍人會本部主催の陸
國精神振興傷痍軍人修養講習
會は来る十九日平市公會堂日
本間に於て平市及び石城郡一

石城郡販賣聯合の 俵米共同販賣復活

但し個人取引は罷ならぬ
更生第一回日來廿五日

石城郡販賣に於ける毎月三回
の俵米共販は販賣統制で昨年
の晩秋から中止となつてゐた
が来る二十五日より復活する
ことになつた右共販の中止は
米の最高價格が決まつたため
に從來の如き購入側の競争入
札は何等の權威がなく誰もが
其の最高値を突いて終へば入
札價が同一レベルになること
當然で無駄な手數であること
は云ふまでもなく其所で取引
相互が農倉にあるものは倉荷
手から公定價格をよそに賣買
も出来ること云ふことになつた
面白くない結果を見るに至つ
たのでこれが是正には絶対に
個人取引を廢止し農倉に集め
たものを産業組合から米業商
業組合へ公定價で移し商業組
合が各商人の申込みに対して
配給することの仕組みまでは
進んだが限りある出廻りに對
して商人各自の希望を満たす
難には行かずその配給が困難
となつて郡下の米穀商業八ヶ
組合が懇談を重ねて平及び四
倉、勿來方面各々へ地元商人

財務事務指導會

縣主催の平市及び石城郡財務

支那單語
來たと云ふことは來た
でライラ、終つたかは
了でワンラ、いくつあ
るかは有幾個でユーチ
コ、五つあると云ふ
なら有幾個でユウウ
コと云ふ様に唱へて
起請國に報するの志操演説の
講演ある筈だが講師は元陸軍
教授厚生、陸海軍省囑託五号
安二郎氏である

至極元氣にて
警備に討伐に

至極元氣にて
警備に討伐に

拜啓、此の度國防婦人會の
方々より御心盡しの慰問品
有難く拜受致しました、統
後の皆様方が第一線勇士以
上の御働き振りを聞く度に
小兵共も一層の緊張の度を
加へ任務遂行に専念致して
居ります故何卒御休心下さ
い、御蔭様にて小生も至極
元氣にて警備に討伐に勤め
て居りますから御安心下さ
い、中支も寒さが加はると
共に治安の恢復も一層に加
はりました、到るところに
日章旗と新國家の五色旗が
翻つてゐるのが目立ちます
國防婦人會御一同様に何
卒よろしく御傳言願ひます
先は御禮かたぐ御一報ま
で
敬具

石城郡北部男女
聯合青年團總會

石城郡北部の四倉、大浦、大野
草野一町三ヶ村男女聯合青年
團の總會は来る十八日四倉町
の海濱館に於て開催、なほ當
日は各町村青年團員の意見發
表演説があり大日本聯合青年
團主席東郷金瑛師の講演ある
リヤカーご自轉
車の集合検査

石城郡赤井村の日興製煉
瓦製造工相馬郡石神村生れ
赤井村岡田田居住中島勇治四
四平市梅ヶ町生れ市内平登曲
申上ます
早々

〇〇島に敵前上陸
平市才植小路出身 石田儀一郎
新年御目出度うございませ
其の後は承らく御無沙汰致
し誠に申御座りませぬ、
不悪御下下さい、純後皆々
様には御變り御座りませぬ
か、降て小生御蔭様にて元
氣で去年〇月中支より南支

〇〇島に敵前上陸
平市才植小路出身 石田儀一郎
新年御目出度うございませ
其の後は承らく御無沙汰致
し誠に申御座りませぬ、
不悪御下下さい、純後皆々
様には御變り御座りませぬ
か、降て小生御蔭様にて元
氣で去年〇月中支より南支

煉瓦製造職工
工場から窃盜

煉瓦製造職工
工場から窃盜

思ひまゝに
大森 勇
軍務指導會と食卓を圍んだ事が
あつた。軍務は参員として
議會に出席した人であつた。
ある時議會で議員が時の大藏
大臣高橋清是老に質問した。
質問のケは四項であつた。
参員は答辯の要點を紙に書
いてこそり藏相に渡すのだ
が、四項の中一項目を忘れて、三項
だけ紙に書いて老藏相に渡し
た。藏相は立ち上つて答辯さ
れたが、右手をうしろにまわ

思ひまゝに
大森 勇
軍務指導會と食卓を圍んだ事が
あつた。軍務は参員として
議會に出席した人であつた。
ある時議會で議員が時の大藏
大臣高橋清是老に質問した。
質問のケは四項であつた。
参員は答辯の要點を紙に書
いてこそり藏相に渡すのだ
が、四項の中一項目を忘れて、三項
だけ紙に書いて老藏相に渡し
た。藏相は立ち上つて答辯さ
れたが、右手をうしろにまわ

煉瓦製造職工
工場から窃盜

煉瓦製造職工
工場から窃盜

文魁文堂
ホシエニ色
シャープペンシル
一本金五拾錢以上
シャープでしたら一流
品ホシエスを御指名願
ひます。
御進物としては立派な
化粧箱を用意して御座
ります。

